

科目名	カレッジプロジェクト							年度	2026
英語科目名	College Project							学期	通年
学科・学年	コンサート・イベント科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	小峰 建	教員の実務経験		有	実務経験の職種		舞台音響		
【科目の目的】 カレッジプロジェクトに参加し、ライブ・コンサートの現場づくりを実践的に学ぶ。講義を通じて卒業後の自身の指針を発見する。									
【科目の概要】 学生委員会、クラスなどで計画したプロジェクトや自主コンサート、ボランティア活動などを実行します。									
【到達目標】 カレッジプロジェクトを通じて専門力と人間力を高める。将来、社会人として音楽業界及びエンタテインメント業界で活躍できる人材となることを目標とする。									
【授業の注意点】 この授業は、ミュージック・カレッジの合同イベントである。本番に向けての準備段階から全学科の学生が参加する。全学科でミーティング等も頻繁に行うためコミュニケーションが大切である。規律を重んじ私語や態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。チームワークを大切に報告、連絡、相談を怠らずチームワークを大切にし皆で協力して取り組む。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	積極的にライブステージ鑑賞に参加する		ライブステージ鑑賞に参加する		到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標 B	1種類のジャンルの音楽を体験するとともにアーティストのパフォーマンスを現場で体験し知見を得る		1種類のジャンルの音楽を体験し説明することができる		到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標 C	1種類のジャンルの音楽を体験するとともにスタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の技術やスキルを現場で体験し知見を得る		スタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の役割について説明できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 特に無し									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 *参加状況や態度、積極性を見て評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		カレッジプロジェクト			年度	2026
英語表記		College Project			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	第一課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 資格対策とは	授業対象資格の意義がわかる	3	
			2 課題発表	第一課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
2	第一課題 実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
3	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
4	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
6	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第一課題をまとめ、発表する		
8	第二課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3	
			2 課題発表	第二課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
9	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
10	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
12	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
14	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第二課題をまとめ、発表する		
15	総合復習	復習の実践	1 第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3	
			2 第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		
			3 資格取得の可能性	授業対象資格を取得することへの可能性を知る		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等